

感想

18歳になったら選挙に行こうと思いました。

とてもいい機会になりました。

18歳になることによって生じる権利や責任を詳しく知れました

投票の制度などが分かりやすく説明されていて良かったです

また、今の世界の情勢なども交えてのプレゼンだったので、話に興味を持ちやすかったです

今まで自分はまだ遠いものだと思っていた主権者について、よく考える良いきっかけになりました。お話を聞いて、今自分がすべきことは何かやこれからの社会について考えを持つことができたと思います。

どのような観点でこれから政治に参加していけばよいかをたくさん学べてすごく意義のある講演でした。子育てや環境問題など将来を見据えるだけでなく、歴史的観点からもこれからの政治について考えることがとても大事だと思いました。自分の一票に責任を持って投票に行きたいです。

つつい馴染みのあるテーマに関心を持ちがちなので、政治に関することを考えるときは視野が狭くなりがちですが、今日色々な人の意見を聞くことができ、どのテーマも大事だと思いました。政治家になってほしくない人を落とすためにも投票はしようと思います。ネット投票ができる国もあるとのことなので、日本もできるようになったら若者の投票率が上がるのではないかなと思います。私はネットで投票したいです。

投票に行く必要性を強く感じた。

今まであまり政治には関心がなく、若者が選挙に行くことの大切さに気づくことが出来ていませんでした。しかし今回、能登半島地震や社会保障、ウクライとロシアに関する情勢や過去の日本で起きた戦争についてなど、様々な観点からお話しして下さったおかげで、私たち若者が選挙に行き投票することで、それらの世界や国内で起きている問題が少しでも良い方向に進んでいくのではないかなと思うことが出来ました。来年自分も18歳になったら早速投票に行ってみようと思います。

音楽や写真がいっぱいあってわかりやすかったです。

ありがとうございました。

もうすぐ18歳になるということで投票できるようになるけどどこに入れば良いかなど全く分からないので公演を聴けて良かったです。日本に沢山の問題があると知れました。今の政治には疑問に思うことがあるので、主権者として投票に行きたいと思うようになりました。

投票に行かないと何も変わらないことがわかりました。

選挙は今まで行く気がなかったけれど、今回の講習を聞いて選挙に行く気が起こった。18歳になったら自身の考えを政治に反映できるよう、投票したい。

主権者教育というタイトルだったのでお堅い講演会を想像していましたが、思っていたよりも面白かったです。選挙の総数に投票率が関わるということを知らなかったのでちゃんと選挙に行かなければいけないのだと実感しました。

今回の講義を聞いて、自分が選挙権を持ったら絶対に選挙に行こうと思いました。とても良い機会になりました。ありがとうございました。

若者の意見の重要を知った。

いろいろ考えさせられてとてもいい機会になりました

選挙に行って投票をすることの重要さが改めてわかりました。

いずれこの社会の中心になっていくのは私たちなので、人任せにせず責任を持って考えていく必要があると感じました。

関心のあるテーマが人によって全然違うことに驚いた

阪神淡路大震災について再度思い出す機会になった

選挙について行った方がいいと言うのはわかるが、被選挙権を20歳くらいまで下げた方が共感できる意見が増え、行きやすくなると思った

あと3ヶ月ほどで18歳になるが、自分が選挙権を得られるということについてあまり考えてこなかったので、この機会にしっかり考え、多くの人の意見を聞くことができて良かった。これからの日本をより良くしていくためには、若者が投票に行かなければならないので、自分自身も主権者だという自覚を持ちたい。

主権者になるということがどういうことを考えないといけないか、そういうことが知れる講演会でした。極太クロッキーは描きにくかったです。

ゲーム形式での講演が面白かったです。興味のある争点人が人によって全然違うのもとても興味深かったです。18歳になると考えなければならぬことが多くなるのですが、自分が損しないように投票したいです。

日本には多くの課題がありどれも必要なことだから誰を選ぶかによって今後の政策に影響すること、また少ない人だけでは声は届かないため権利を使って投票しに行くことが必要だと感じた。もっと身近に感じるためにも日頃からニュース、自分の興味のある分野だけでも調べていきたいです。

選挙について知識がなくて投票も気が進まなかったけれど、一人一人の持つ責任が分かったので政治や経済など、いろいろ調べてみたい。

正直、これまで政治や投票について興味はなかったけれど、これから成人していく私たちにとって、将来に最も関係していく世代にとって、もっと関心を向けるべきことだなと感じました。自分が政治家になる、ということはないかもしれないけれど、自分が考える、これからの日本があるべき姿と1番近い考えを持つ人に、日本を任せたいなと思いました。

選挙に行くことの大切さは分かっていたつもりでしたが、今日のお話を聞かせて頂いて改めて18歳になったら選挙に行こうと思いました。国内外の問題を少しでも改善していくために、現在問題になっていることに敏感なって学ぶ姿勢を持つことから始めようと思います。

選挙について知れた。

投票をするということがどれほど自分にとって大切なものかわかりました。

どの争点に関心があるかという問いに対する様々な意見を聞くことができたのが良かったです。私はたまにしかニュースを見ないけれど、有権者になる自覚を持つために、ニュースを見て世界の現状を把握することが大切だと思いました。

みんな日本社会の課題をしっかり考えていて、言葉にできることに驚きました。私は意識が低いのだと自覚することができました。

選挙の大切さを改めて知ることができて良かった。実際に選挙のシミュレーションをしたり、周りの人と争点について話す時間や他クラスの人の意見を聞くことができて楽しかったし、有意義な時間となって良かった。また、18歳になったら選挙に行きたいと思うようになった。

選挙に行くことがとても大切だと感じました。

もしとらになってしまったら本当に世界はヤバくなってしまわないかと思いました。

親によくニュースを見なさいと言われることが多いのですが、今まではその重要性をあまり感じたことがありませんでした。今回の講演を聞いて自分が投票する際にどんなことを重視するか考える時も、世の中の状況を知らなければ判断できないなと感じたので、これからは新聞やニュースで自分から積極的に世の中のことを知っていかなければいけないなと思いました。また、今は少子高齢化でただでさえ若者の数が減っているのだから私たちは絶対に投票に行かないと意見が通らないことになってしまうのだということが改めてわかりました。普段政治に関心を持つことはないけれど世界情勢が不安定な今こそ自分の意見を持って生きていくようにしたいです。

私たち若い世代が選挙に参加する重要性がわかりました。自分たちのなりたいようになるためにはまず自分が投票しに行ったりしないと、他力本願ではいけないなと思いました。また、今日いろんな人の意見を聞いて、まだまだ今の情勢をわかっていなかったなと思ったのもっとニュースとか見て、知っておかないといけないなと思いました。

自分だけだと、関心事に偏りがありますが、友達と意見交流することで、関心のなかった問題の内容についても、理解が深まるので、SNSの話ばかりしてなくて、今後そういった話をできるようになりたいなと思いました。

皆の意見を聞いていると、各々しっかりと話せていて、凄いなと思いました。自分の関心の無さを痛感しました。こういったことがいい刺激になって、若者の投票率が上がっていくのだと身をもって感じました。

18歳になるのはあと1年くらいあるけれど、その間にもっと世界の情勢や政治問題についてなどたくさんの知識をある必要があるなと思った。投票にいきます。

今まで選挙とか政治とかは遠いもの感じていたけど、こうして今日講演や他の人の意見などを聞いて、すごく身近なものに感じる事ができた。しっかり自分で社会保障や今の制度について、知らないことは調べて、知識をつけようと思えるきっかけになった。

誰に投票するかの話し合いでたくさんの人の意見を聞くことで様々な考え方や価値観を知ることができて面白かったです。

塵も積もれば山となるということわざがあるけれど、みんな「自分一人（塵）がいなくなっても山には影響ないんじゃないか」と感じているんじゃないかと思う。けれど今回の講習会で1票に200万弱の価値があると聞いて、ちゃんと一人一人の投票に影響力があるんだなと思わされた。もうすぐ18歳になるけれど、自分が思う理想の社会作りに貢献してくれる政治家を選べるように下調べしたいと思った。

高齢者の人数が多いからこそ、私たち若者がもっと政治に興味を持たないといけないという事がよくわかりました。もっと世界のことに目を向けて選挙について考えたいです。

17歳で時々選挙のことを考えるけれど、実際一人で行く勇気もないし、判断の基準が分からないから稚拙な考えで1票を入れてしまうことに抵抗があり、深く考えて来なかったが、今回話を聞いて自分がどのようなことを重要視するかを考えることが1つの指標となることを知れて、勉強になった。

年代ごとの投票率とそれによる投票結果を、図示されていたのがとても分かりやすかったです。友達などと選挙についての話をしていると、親が選挙に積極的に行っていない人は、選挙参加に消極的な人が多いように感じます。それゆえ、若者世代の選挙参加を増やすためには、親世代の投票率を上げることも大切かなと思いました。

色々な人の意見を聞いてとても面白かった。

選挙に行くことの重要性がわかった。若者はただでさえ高齢者よりも不利なので、18歳になったら必ず選挙に行こうと思った。

これまで、主権者は国民であると習っていたが、まだ18歳まで遠いと感じていたため、あまり実感はなかった。しかし、今回の講演会で、自分が主権者になることが差し迫った課題であることがよく分かった。

選挙について知るいい機会になりました。主権者になった時には選挙にいろいろおもいます。

もうすぐ選挙権が得られるので、今回の話を聞いて、もし支持したい政党がなくてもどこか少しでも気になる政策があるところに投票しようと思いました。新聞記者は日本を客観的に見れる仕事で、今の日本には欠かせないと思いました。同学年の人の考えにはとても刺激を受けました。自分も日本の将来を担う一人財として、地に足をつけて生きていきます。

投票するときには、色々なことを調べたり考慮して投票しないといけないと感じました。選挙に出る政治家のことを選挙前に調べて、投票できるようにしたいです。自分が政治家になるのは、あまり考えていないですが、自分の意見が言えるような社会になればいいなと思います。選挙は、匿名であるから、若い人が投票してくれているのが分からないと思います。どの年代の人がどの意見を主張しているのかが分からないと、若い人の意見が通りやすいとか不明だと思えます。人口的にも差があるので、講演でも仰っていたように、若い人の意見が通る「可能性がある」だけなのです。人はそれぞれなので「可能性がある」という言葉を聞いて、「可能性があるのならやってみよう」という人と、「可能性があるだけだし、必ずしもそうではないから」という人がいるわけです。今、「若い子は～」とよく言われていますが、後者の人が多いのではないかと思います。自分は関係ないとか、自分が投票しても意味は無いとか、誰かが何とかしてくれるとか、投票はするけど政治家にはなれないとか、思ったりしているのではないかなと思います。責任をあまり持っていないんだと自分でも感じます。未来を担っていく自分達が、どうしていくかを考えないと、この世は終わっていくんだなと思えます。全国の人達で話し合いができればよいのですが、そうはいかないので、ネットとか、SNSなどの色々な手段を使ったりして、これからどうしていくかを共有できるようにすれば良いなと思います。気になったのは、「国」という言葉です。国民、国力など言葉が出てきていましたが、自分はそういう、国力がとか言ってるから、今、戦争とか起こりそうになっているのではと思います。世界の問題があるのに、自分の国は強いんだ、自分の国は発展しているとか、どうでも良くないか？と思えます。弱い国は駄目なのか、発展していない国は良くないのか、そんなことは無いですよ。だから、早くその概念を捨てて、国力があるなら、国力がない国に協力するとか、先進国なら、発展途上国の手助けができるのではないかなと思います。しかし、してあげてる、みたいな立場は駄目だと思います。平等だから、そんなのは良くないです。世界が平和になれば良いなと思う今日この頃です。

投票に行く価値と日本の未来を担う責任感を再確認させられた良い機会でした！

政治の以外にもたくさんを知れたと思う。言っていたようにこれからの日本は僕たちが作っていくので責任感を持って投票しに行きたいと思う。

投票しなければ、政治は変わらないということの説明が分かりやすかったです。

今日の講演会を聞いて、若者の主張を政治に反映させるために私たちが選挙に行くことは大切だということに改めて感じました。また、選挙に行くときはしっかり政党の政策を調べるようにしようと思いました。講師の方が災害や防災について多く話しておられたのは、新聞記者としてこれまで悲惨な災害現場をたくさん見てこられたからだと思うので、選挙に行く際は災害・防災に関する政策にも気を付けて調べようと思います。

僕は4月産まれでみんなより早く選挙に行けるので選挙する機会があれば行きたいと思いました

18才になるまで約一年ありますが、今から日本の将来について考えておこうと思いました。

もうすぐ18歳になって選挙権を持つので、その前に色々なことを知れてよかったです。今日はありがとうございました。

今回の講演はこれから主権者になる自分にとって非常に有意義なものだった。

わたしは政治に関心があって、絶対に選挙は行こうと前から決めていたのですが、確かに周りの大人の中には選挙に行っていない人もいるのを最近見て投票率の低さを改めて実感しました。私たちの世代は選挙に行きましょうという教育を小学校くらいの時から受けてるから、この世代から選挙の投票率を上げたいし、高齢の人の意見だけじゃなくて、これからの日本を担う世代のための政治もしてもらうためにも投票には行かないとなと思いました。私は、最近国会で話している内容が裏金とか統一教会の内容のことばかりで、政治家の不祥事について議論してるだけなのに、そこに対し、私たちの親が払ってる税金で給料が支払われてるのがすごくおかしいなと思いました。こういったような、政治への国民の不信感は、民主主義の日本にとってよくないことだと思うので改善してほしいし、もっと政治について知ろうとする若い人の姿勢が必要だと思いました。

防災の大切さを思い出すことができた。

私たちは来年に選挙権を持つようになります。正直、今までは別に行かなくても良いかな、と思っていましたが、今日の講義を聞いて選挙の大切さを感じることができました。

今日の講演を聞いた時に、習い事の先輩が18歳になった時「選挙行った？」という話をしていたのを思い出して、改めて来年自分が18歳になった時に選挙に行かなければいけないなと思った。

また、投票の争点の話をした時に自分は「子供・子育て」ばかりに今日に持っていたが、みんなの意見を聞くと、自分はその考えには気付かなかったというのが多かったので、普段から政治について周りの人と話してみる習慣をつけようと思った。

とても良かった

若い世代の投票率の現状や日本の社会情勢について改めて考えることができました。1票がどれほどの価値があるかを知ることができました。

とてもためになるお話で今後活かそうと思えました

投票率のお話について、「自分は政治、政党のことについてあまり分からないから選挙に行かない」ではなく、どの政党を選ぶかは別としてとりあえず選挙に行くことで、その年代に耳が傾けられるので、まずはどの政党がどんなことを主張しているのかを関心を持って自分で調べて、選挙に行くということが大切なんだなと思いました。

積極的に投票して政治に参加することで自分たちの世代の意見も通りやすくなるから、選挙権を行使するためにも特に若者が投票することが大事だと思った。日本は少子高齢化や防災面、経済面など取り組むべきことが多くあり、また他国との関係など国内だけではなく国際的に考えるべきこともあり何が1番重要なことかを決めるのが難しかった。

選挙に行くことの大切さを学べました。一票の価値の大きさに驚嘆しました。

私はどちらかと言うと選挙権を持つことが楽しみなのですが今日の講演を聞いてもう少しどの争点に興味がありどの政党の考えに合うのかを調べて考えて政治に反映して貰えるようにしたいと思いました。

たくさんの人の意見が聞けて、その声を選挙で届けなければいけないということがよくわかった。また、自分の意見と全く同じことを掲げている立候補者がいなくても選挙には参加すべきだという話を聞いて、自分の意見を持ち、少しでもそれを政治に反映させることが大切だとわかった。

投票に行くことの意義を実際の人を使って説明してくれてわかりやすかった。来年には選挙権を持つということに実感を持ちました。1票しかないにしても意見を伝えられる投票が大切だと感じました

若者が選挙に行くことの重要性がシミュレーションでよく分かった。また、若者1人が投票に行かないことが選挙、これからの社会にどれだけの影響を与えるかということがよく分かった。

今回のシミュレーションでは、若者がキチンと投票し、その上他の世代に影響を与える若い活動家のような人が出てきてようやくギリギリで賛成に漕ぎつけることができたが、実際の選挙でも若者の意見を通すためには今回のようなかなりギリギリの勝負になるのではないかと思った。

若い世代が投票に行かない理由として、誰に票を入れたら良いかわからない、誰も良い人がいないということかあるというのは知っていたが、そのような人は棄権票を入れに行く必要があるということを知った。若者の世代で棄権票が多いという事実が生まれたら、それが新しい社会問題になり、若者への施策を考える政治家が増えたりするのではないかと思う。自分が投票する立場になって、良い人がいないとなっても棄権票だけは入れに行きたいと思う。

いくら自分たちがどうしたいか意見を持っていたとしても、投票に行かなければ意見が反映されないと言うことが心に残りました。ニュースや新聞などで政治関連の事柄を常に知っておく必要があると感じました。

本日はありがとうございました。今までは何となく選挙に行った方が良いという漠然な思いでいましたが、今回の公演で選挙に行くことの具体的な理由を理解できました。先行きが不安な世界ですが、選挙に行かないと何も始まらないので自分でよく調べて投票したいと思います。

選挙に行かないと今の60代の方々の意見が通ってしまうので若者は今の政治に文句を言うだけでなく実際に選挙に足を運ぶべきだと思った

若い人達が選挙へいかないと、人口の割合的にも高齢者の意見ばかり通ってしまうようになるというのがとても分かりやすかったです。

有意義な講演会でした

5人のゲームでもあったように、投票しないと意見が通らないんだということがよく分かりました。周りの人と関心のある話題について話し合っ、この人はこのことに興味を持っていてこんなふうを考えているんだというのを知れて、良い機会でした。

1年もしないうちに選挙権を持つのに政治、経済の現状を全然知らず危機感を覚えました。こまめにニュースなどをチェックしてどこに投票するべきか判断できるようになりたいと思います。

18歳になると選挙に行けるということ自体は自分でも分かってるつもりでしたが、誰に投票すれば良いのかや、なにを根拠に投票すれば良いのかについて、詳しく知る機会は今までなかったので、とても良い時間になりました。自分の興味のある争点を自分で深く考えてからその上で誰に投票すべきなのかを考えることが重要なのだと分かりました。また、若者の投票率が少ないことによる様々な社会への影響が分かり、改めて選挙に行くことの重要さが分かりました。震災の多い兵庫の地で育つ身として防災関連についてもこれから知っていききたいなと思いました。

自分達の意見を反映させるためには、積極的に投票に参加する必要がある事に気付きました。私達が講演に飽きないように様々な工夫をしてくださりありがとうございました。

講演を聞く前も絶対に選挙には行こうと思っていましたが、講演を聞いて、更に行かなければならないという気持ちが強まりました。普段、SNS等を見ていると、政治家に対しての不満を投稿している人がいます。しかし、そのような人達は本当に投票に行っているのか疑問に思います。政治家に対して文句を言うのではなく、投票できる権利をしっかりと利用して、自分たちで国を変える必要があると思います。行動して国をよりよくしていきたいと思いました。

選挙なんか行くのがめんどくさいなと思っていましたが、この公演を聞いて、1人の票の価値をすごい実感できました。ありがとうございました。選挙権を持ったら、友達を誘って投票に行こうと思いました。

来年には選挙権を得、投票に行く可能性のある身分になるにあたって、大変参考になる講演だったと思います。ありがとうございました。

今まで、投票に行くことがどのくらい影響があるのか分からなかったけれど、ゲームや計算で具体的にわかった。

みんながどんな分野に興味があるのか分かった。

先日はありがとうございました。

新聞社の方ならではの情報がたくさんあり、とても良い経験になりました。最初のゲームなど友達が動いているのを見ると、とても親近感が湧きました。私は誕生日は遅い方ではないので、もしかしたら成人すぐに投票することになるかもしれないので、今回のお話のことをずっと覚えていたいと思います。

私は将来自分投票するときには誰にすればいいのかわからなかったり、決まらなかつたら投票しないと思っていたけれど自分の投票1票にたかが1票でも200万円近くの影響になっていて衝撃を受けました。しっかりと投票するためにもニュースなどで今の世界情勢について詳しく知って、興味関心がある分野を増やして問題点を考えていきたいと思います。

改めて選挙に行くことの必要性、若い世代の政治への興味関心の必要性を感じた貴重なご講演でした。来年から自分も選挙権を持つことになるので、積極的に参加していきたいと思います。

国のためでもあるけれど、自分のためにも主権を行使していく必要があるなと思いました。今は投票に行くつもりですが、これから先もこの公演の内容を忘れずに投票に行きたいと思います。特に、お金のことに関してはもっと取り扱い方が変わればなと思っているので色々調べたいなとおもいました。

今回の公演を聞いて、投票に行くことがいかに大切であることかを再認識することができた。日本の国の政治は他国の政治が介入するものでもないし、日本国民である私たちが日本をより良くするためのことを考えなければならないと思った。実際には20代の投票率が低くなっているの、選挙権を得られる18歳だけでなく、選挙権を得てから年月を過ごしても投票に行き続けたいと思う。

よく若者の投票数が少ないから、若者に対する施策より、高齢者に対する施策の方が充実しているといった趣旨の話は今まで聞いてきましたが、実際に数値を出して計算することで、可視化され、今まで不透明だったところがわかるようになりました。来年から投票権が得られるようになりますが、しっかりと政治に向き合って、後から悔いの出ないようにしたいと思います。

投票はやはり、全員が参加することが意味があるのだと改めてわかりました。主権者としてしっかりと責任を持っていくべきだと感じました。私はあまりニュースをこれまで見ていなかったの、もっと政治について関心を深め、よく理解して、実際に投票に行けるようになったら、行ってみたいなと思いました。

同じ学年の人が社会問題についてどう考えているかが分かって面白かったです。

関心がある争点について多くの人が意見を発表していて、自分の周りの意見だけでなく自分が思いもつかなかったことを話している人もいて、すごく勉強になったし、新しい発見がありました。国が大変だと嘆いているだけじゃなくて投票に行くことが大切なんだなとわかりました。

今まで薬物のセミナーやSNSについてのセミナーは何回も受けてきたけれど、今回の主権者教育の講義は受けたことがなかったので楽しみにしていました。想像していたよりも楽しくて今までより選挙に対しての興味が増えました。周りの人と話し合うとき、その人の興味のある争点が合わなくて面白いなと思いました。

もう少しで選挙に参加する年齢になるので、その自覚をしっかりと持ち、投票に行くことが大切だと思った。国をよくしていくためには、若者の力が重要だと分かった。

自分たちの1票が日本を変えることがよくわかりました。

生徒参加型でとても楽しかったです。

選挙に行かなかったらどんなデメリットが起こるのかをよく知れたので、選挙に自ら出向いていきたいと思いました。

1票あたりの価値を具体的な数字で見ることができ、自分の1票も軽いものではないと改めて思いました

イラストを生徒が書くという導入から興味を引いていくスタイル良いなと思いました

参加者を巻き込んで講演を進めていたのが良かった。

質問事項あれば

投票する前、投票する時、投票した後にしたほうが良いこと、しておくべきことは何ですか？

具体的に選挙に出る（政治家になる）手順はどんなものですか？

立候補者が何を主にしようとしているのかが、まとめて分かるものはありますか？

実体のない好景気や、経済の好循環について教えてください

選挙の時に、どうしても、どの立候補者の意見にも賛同できない時は、無回答投票して良いのでしょうか？